



河芸町 青久様

工事進行写真(建物との同時進行工事)

軟弱地盤が難点でした。

既設の土止ブロックの上に瓦を載せた和風の塀をご希望されている中、既設のブロックは工事の終了後から少しづつ沈下しているとの事でしたのでご覧の様にそのまま残して結果的には基礎に使う型枠の代わりとして利用しました。

見えて居ますのはラップルコンクリートと言う地盤の改良工事です。

コンクリートと栗石を1/2の割合で打設します。



一般で言うところの鉄筋入りの布基礎コンクリートを施工し、上部には木造にて躯体を施工。

目的は軟弱地盤と耐震に対する軽さを考えての事と成ります。

外部には鋼管足場にて作業の安全性を計ります。



約3.64m@にて控えを設けて塀の揺れを防止します。

木造の躯体は防腐処理を行います普通の住宅を建築する工法に成ります。



アンカーボルトにて土台を固定。

柱は105角木材です。

間柱は1/3の材木です。間隔は455mm/m。



躯体に構造用合板を張ります。

そして、フェルト紙と言う防水紙を貼り、ラス網を張付けます。

上の少し巾が広い部分は瓦の乗る下の少し巾が広い部分と成ります。

瓦を仮に載せて状況を確認して居ます。



モルタルを下地塗りした様子です

所々に飾り窓を設けています。

中庭に植木の為に風を取り入れる事&意匠的な事で飾り窓を設けます。



造園工事が塀が完成後だと機械が入れない事から先行にて池とか、大きな樹木を仮植えました。



モルタルの下地が出来て来た頃。

道路方向からの全景です。



車庫の後方部分ですが、2期工事として基礎を行いました。

廻りの田に稲が生息して居ましたが丁度この時期には取り入れが行われ始めました。



下地のモルタル工事が後僅かを残しての進行状況です。

屋根に成ります部分に和風の瓦。
三州瓦「笠塀C型」を利用します。

この瓦は巾が330mm程度有ります。

塀よりも巾が広い事から瓦の上に積もって雨が降り始めた頃に流れ出る汚れは塀を伝わらず真下に落下する事から塀が汚れません。



車庫後部の塀の高さが同一の為、瓦の切り詰め加工が行われます。

仕上げは漆喰にて行います。



保々完成です。

吹き付け仕上げと成って居ます。
一条工務店さんの建物の仕上げと合わせての
アクリルリシンにての仕上げ



三協アルミ「志貴野」にて潜り戸を設けての工法です。

数奇屋門の風格が漂います。

前の階段 & 土間コンクリートの施工は未完成ですが現在は完成して居ります。

碎石にての地業とワイヤメッシュにての鉄筋の配筋を施工し、コンクリートは100mmの厚みで施工。

手前には奥に縦長の車庫と前面道路沿いは縦列駐車タイプを圧迫感を省く為に明るい色を利用しました。



太陽光線の関係で暗く見辛いと思いますが凡その外観はご理解戴けると幸いです。

数奇屋門は片側には袖門 = 潜り戸を設けて通用門的に。



外構工事の完成。

完成後の前面道路沿い状況です



造園工事進行状況。

造園工事が要約と進行させる事が出来る段階です。



床の間付き和室広縁の前の場所に空池を設けました。

雪見灯籠は「白御影石」3尺の大きさです。

下草はオカメ笹。

飛び石は先行にて打って有りましたが「鑄砂利」= (しがらぎ砂利)にて表土を覆いました。



アプローチは木曽石にて乱形貼り仕上げ。

春日灯籠は小さく見えて居ますが高さは6尺と、大きさが有り火袋は木工にて細工が施されて居る種類です。

玄関から正門部分を眺めての撮影です。

黄色く土の様に居ますが、「しがらぎ豆砂利」を敷設

玉竜にて築山の土を覆っています。

造園工事はこれにて終了しました。







H鋼での控え柱





回覧板でもOK IIブロック
タイプのポスト(塀の背面)





